

浜松湖北高校生徒 地元企業を取材！

浜松湖北高生徒 地元企業を取材

浜松湖北高（浜松市浜名区）商業科の生徒が、地元企業や事業所を取材し、情報発信する授業に取り組んでいる。24日は6人が同市中央区の特定NPO法人「地域生活応援団あくしす」を訪れ、障害者福祉の現場を取材した。

生徒は同NPOの担当者から、運営する放課後デイサービ

障害者福祉現場など、ブログ発信へ



担当者に取材する浜松湖北高の生徒＝浜松市中央区の特定NPO法人地域生活応援団あくしす

スや生活介護、在宅支援について説明を受け、実際に施設も見学した。生徒たちは職員に「事業所の強みは」「働くやりがい」などと熱心に質問した。取材した3年中沢幸斗さん(17)は「職

員の皆さんが明るく前向きで、イメージが変わった」と話した。

授業はLPガス販売のエネジン(同区)の協力で実施。今後、取材内容をブログなどに掲載する。

エネジンは県立浜松湖北高校商業課の生徒と、浜松市内中小企業の魅力を市内外に発信するPR活動を共同で取り組んでいます。この度、NPO法人地域生活応援団あくしす様を訪問し、高校生に障がいを持つ方々がどのような日常を過ごしているのか、当法人の活動を肌で知ること、将来社会の一員として、多様性を理解し、共生社会を築くための学びの場となります。当法人として学生に自社を知って頂き、更なる地域へ浸透と将来的な人材確保と事業繁栄へも繋がっていけばと考えております。今後も地元企業の取材を通じて地域の発展に繋がっていけるように取り組んで参ります。

令和7年(2025年)9月27日(土) 静岡新聞

